

西東京市の女性史を編さんする会

【報告】まちづくりに貢献しつつも表舞台に登場することが少なかった女性たちの暮らしや活動を掘り起こし、その歴史を市民とともに学び、編さんする活動をすすめています。

21人（76～94歳）の聞き書きを主に年表も作成中（平成21年度西東京市NPO等企画提案事業）。

女性史編さん講座（連続4回）開催

- ①地域女性史の意義と効果：講師／折井美耶子
 - ②田無・保谷の女性—その歩みと特徴：講師／折井
 - ③女性史編さんへの心得：講師／石崎昇子
 - ④今後の取り組み方：講師／石崎
- ◆講座終了後、受講者のなかから活動参加者を募り「西東京市の女性史を編さんする会」を立ち上げました

西東京市の女性史を編さんする会の活動

- ・毎月第2・4土曜日開催、活発な議論も愉しく
- ・会メンバー13人は聞き取り、テープ起こし、原稿まとめや話者との連絡など、超多忙な毎日です
- ・近辻喜一さんを講師に、まちの歴史も学びました
- ・「会活動だより」を発行。編集担当者の個性的な文面を楽しみながら意思の共有化をはかっています
- ・年表も作成。他になかった個性的冊子にと思案中

女性史の編さんは過去から未来への贈りもの

- ・いのちと知恵をつないできた女性たちのお話に、涙したり、感動したり、お聞きできた幸せを感じています。いくつになっても今が旬な方たちです
- ・お話をお聞きするたびに思うのです。暮らしの中には社会や仲間をつなぐパワーが秘められていると。
- ・戦後を生き抜いてきた女性たちのお話は説得力十分

冊子の刊行は平成22年12月予定です

★講師の言葉

- ・行政主導でなく、西東京市のようにNPO法人主催の女性史編さんは珍しい。楽しみである。
- ・地域女性史とは、生活の場としての地域とそこに生きる女性たちの歴史であり、それを語り伝えることである。
- ・時代の歴史は偉い人だけのものではなく、私たち一般市民（女性）が底支えてきたことがわかり、女性の存在感が認識できる。

- ★女性史編さんに先立ち、情報収集のためさまざまな機関・団体・個人の方々（約50名）からお話をお聞きしました。ご協力ありがとうございました。
- ★「ジェフリー通信」では毎号、編さん事業の報告を掲載しています。

- ★昨年は、国連で「女性差別撤廃条約」が採択されて30年。また、「男女共同参画社会基本法」の成立・施行から10年という節目の年に、このまちの大先輩の女性たちからお話をお聞きできたことは感慨無量です。
- ★市民・NPOがつくる冊子の意味を考え、多くの方々から興味をもっていただき、共感していただける冊子づくりを目指し、日々、努力中です。
- ★生活文化課男女平等推進係と協働できたことの意味は大きく、互いを尊重し、専門性を出しあいながら進めています。

